

秋よ来よ

河村郁子

秋立つに猛暑収まる気配なく熱中症への備へはつづく

暦には立秋なれども夏ひでり庭の草木へ日射しアラート

猛暑日が二十日余りも日照りなり 強風吹けばマウイの大火

灼熱の敷石のすき間に緑這ひ雑草くさの力が励ましくるる

日ざかりの収まる頃あひ水を撒けば葉先のしたたり涼気をかもす

片陰を待ちて杖つきスーパーへ西瓜のパック一人分のため

刈り手なき糸のころぐさの草叢の花穂色づき秋を告ぐるや

犬の散歩に朝はつゆ草夕方は月見草愛でし 見当たaraぬなり

夏草の茂り盛れる原いちめん風にゆらぎて悔恨鎮む

夕さりて桂の幹に鳴く蟬にしばしたたずイみなどか人恋ふ